

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	事業所が新設して1年も満たしていないため、年二回の総合訓練の他に、日頃から建物の構造の把握、避難経路や手順の確認を実施し、災害時により迅速に対応できるようにしなければならない。	職員全員が建物の構造、避難経路、方法、手順を把握し、避難時に的確かつ迅速に避難誘導できる体制を整える。	・総合訓練以外に、年2回、チームミーティング時にあらゆる出火場所を想定して建物の構造、避難経路、方法、手順の確認を行う。 ・訓練時の課題点や必要物品について職員で話し合い、課題解決に向けて取り組みを行う。	12ヶ月
2	37	入居者に個人差があり、共同生活の中で入居者一人ひとりが、より過ごしやすい生活環境を提供することで、これまで以上に、入居者の希望に沿った生活を送ることが出来るよう、援助、支援をしていかなければならない。	入居者の希望を取り入れ、個別に対応することで、入居者一人ひとりのペースに合わせてながら、よりその人らしい暮らしが増えるように援助、支援を行う。	・日々の入居者様との関わり、会話の中から入居者の希望を聞き取り、職員全員で情報共有、把握して、入居者の生活ペースに合わせて援助、支援を行う。 ・入居者の生活環境に変更があれば、その都度見直しを図り、援助、支援を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。